

SDジンク 1500

SD ZINC 1500

一般名称	無機ジンクリッチペイント				
適用規格	JIS K 5553 厚膜形ジンクリッチペイント1種				
系統	アルキルシリケート樹脂無機ジンクリッチペイント(厚膜1液1粉末形)				
主な用途	【橋梁用】				など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
	○	×	×	×	×
特長	1)優れた防食性がある。 2)橋梁用途に適した塗料である。(次工程ミストコート性が優れている。) 3)1回で75μm(スプレー塗り)の厚膜に塗装できる。				
塗料性状	塗料密度(比重)		2.62		
	溶剤密度(比重)		0.90		
	加熱残分		82%		
法令など	液		亜鉛末		
	劇物表示 (品名・含有率)		SDSをご参照ください		
	労安法上の 表示有害物		SDSをご参照ください		
	使用有機 溶剤種別		SDSをご参照ください		
	消防法による 危険物区分		第2石油類(非水溶性)		非危険物
	硬化剤の成分 による区分		—		
	ホルムアルデヒド 放散等級		—		
	製品情報		液		亜鉛末
	荷姿	25kgセット	6.25kg		18.75kg
	混合比(重量比)		液:亜鉛末=1:3		
主な色(色相)		グレー			
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○ブラストにより、錆・ミルスケール・脆弱な塗膜は除去する。(ISO Sa2 1/2)				
使用方法	調合方法	攪拌機を用いて、液に亜鉛末を徐々に加えて、十分に攪拌したのち使用する。			
	熟成時間	不要	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。		
	使用シンナー	標準:SDジンク1500(K)シンナー 夏期またはダストの発生が多い場合はSDジンク1500シンナー遅乾形を使用してください。			
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~5wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%			
	エアレススプレー	2次圧	6MPa(60kg/cm ²)以上		
	塗装条件	チップNo.	163-417~621		
(日本グレイ社製)					

SDジンク 1500

SD ZINC 1500

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	75	175	600
ハケ・ローラー塗り	40	75	300

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	1時間	1時間	30分	20分	20分	
	半硬化	6時間	6時間	3時間	1時間	1時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	48時間	48時間	48時間	48時間	
	最長	—	—	—	—	—	
可使時間		8時間	8時間	6時間	6時間	6時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 0℃以下、湿度(RH%)50以下

主な適用 下塗塗料	強溶剤: SDジンク1000、1000HA(S)など 弱溶剤: — ハイソリット: — 水性: —
主な適用 上塗塗料	強溶剤: エポマリン下塗ミストコート用、エポマリンプライマーなど 弱溶剤: — ハイソリット: — 水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数	【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】式または 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。 ※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。
	0	47.6	2.1	
	5	41.6	2.4	
	10	36.9	2.7	

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。使用上の
注意事項 1)混合した塗料は60～100メッシュのフルイでろ過し、異物や固まりを除去してください。
2)密度の大きい垂鉛末を使用しているので、調合後や塗装中にも低速攪拌して沈降を防止してください。
3)エアレススプレーで1回塗りが標準ですが、ハケ塗りのときは2回塗る必要があります。
この場合は30分～2時間の間隔で塗り重ねてください。
4)SDジンク1000の上に塗り重ねる場合は、1週間以上塗装間隔をとり、2次素地調整をおこなってください。
5)この塗料は、溶剤の揮発で外観上乾燥しますが、真の硬化は湿気と反応し、数週間にわたって徐々に進行します。
したがって、促進硬化させたい場合は、周囲環境に清水などを散布してください。
6)1回塗りで150～200μm以上の膜厚に塗装すると、ダレやワレ・ハガレが生ずることがあります。
7)耐熱用途の場合はSDジンク1500Aをご使用ください。
8)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。